

悪法強行のための国会延長は許さない！

恒例の「戦争法廃止19日行動」に70人が集結！



6月19日（火）午後5時30分から。「戦争法廃止を求める茨城県民連絡会」が、水戸駅北口のデッキで集会。その後水戸南町をデモ行進しました。これは一昨年の7月19日、安倍政権による「安保法制＝戦争法」が強行されことを忘れず、戦争法の撤回を求めて毎月19日に開催している抗議行動です。

主催者挨拶をした田中代表は「『働き方改革と言う過労死法案』、『ギャンブルを公認するカジノ法案』、『党利党略の参議院合区解消』などを強行するための国会延長は絶対に許せない。安倍政権を退陣に追い込み、9条改憲を阻止し、東海第二原発は廃炉にしよう」と訴えました。

恒例のリレートークは司会が水戸市議の土田さんが大活躍。茨城労連や農民連、東海第二原発金曜行動の方々次々に訴えました。また通りかかった高校生がマイクを握り「戦争は絶対反対」と声高く訴えました。また21歳の男性も飛び入り参加で平和を訴



デモは、集会終了後、水戸駅北口の宮下銀座入り口から南町自由広場までの約1kmを「安倍政権は今すぐ退陣」「9条改悪絶対反対」などをラップ調コールで行進しました。またデモが東電社屋前で停止、「東電は日本原電への支援をやめろ」などのシュプレヒコールを集中しました。

戦争法に反対する「19日を忘れない集会・デモ」は全国各地で開催されています。茨城でも水戸駅南口で午後12時から、女性4団体による「レッドアクション」が開かれ、取手では総がかり行動を開催。つくば市でも同趣旨の抗議集会・デモが開催されました。

集会参加者は50人、デモ参加者は70人でした。中でも美和緒川平和の会は遠いにもかかわらず、10名も参加し、「戦争法廃止」「東海第二原発廃炉」などを訴えました。

大会では、質問がいくつか出されました。



◆「東海第二原発20年延長稼働反対の請願・陳情の文案はありますか？（守谷）」

- 事務局でも作成しています。また各地の平和の会の提出した文例もあります。請求して下さい。できるだけ多くの議員が賛同するような文案を練り上げ、議員個別への呼びかけ等を含めた取り組みを強化して、採択を目指しましょう。

◆青年や女性に対するアプローチを考えるべきではありませんか？（石岡・他）」

- とりわけ社会の矛盾が集中し、戦争になれば真っ先に犠牲になるのが青年です。しかし社会の推進力となるのも青年です。青年や女性が平和について学び、討論できる場、各地の平和の会と連携を取って積極的に働きかけます。ピースエッグ（9月）をはじめ、若者憲法集会や青年研修会（12月）全国的な青年の集会等に、地域と事務局とが話し合いを進め、複数の若者を送り出せるよう取り組みます。

◆原自連をどのように評価していますか？（太田）」

- 原自連の提起している内容は、「思想や信条を問わず、原発ゼロと自然エネルギー推進を志すすべての個人や団体の集結」です。今年4月、県民文化センターで原発即時廃炉の講演をした小泉一郎元総理大臣は顧問になっています。平和委員会はこの講演会で実行委員会に参加して取り組みました。原自連が提起している内容な至極当然ことです。国会でも原自連の提案で野党が共闘して「原発ゼロ法案」を提出しています。原発推進政策を止めさせるため、東海第二原発の再稼働を止めるためにも、今後も連帯した取り組みを進めます。

◆「平和委員会が戦争の記録にとり組んでほしい」と2年連続発言しているが、まだ実現していないのはなぜですか？（ひたちなか）」

- 力量不足で取り組みが流れてしまいました。今年度は必ず取り組みます。

3.11から7年ー 福島いま

飛田晋秀写真展 ※入場無料

3.11以後、地震で倒壊し放射能のために放置された家屋は、鼠や野生動物に蹂躪されるままになりました。故郷の無残な姿は、私たちの心を鋭く突き刺しますが、この7年間テレビも新聞も、ほとんど実態を伝えて来ませんでした。だからこそ私は、多くの方々に見ていただき、知ってほしいと願って、記録し続け、日本中を廻って展示し、ありのままを語って来ました。

と き 7月3日（火）～8（日）10時～18時

◆飛田晋秀氏 ギャラリー

トーク ⇒7月3日（火） 16時～

ところ 土浦市大和町1-1

主 催 福島応援プロジェクト茨城

後 援 常総生活協同組合

協 賛 東海第二原発の再稼働を止める会



歓迎！新入会員のみなさんです。

よろしくお願ひします。

- ** **子 さん（常陸大宮市）
- *** ** さん（石岡市）
- ** ** さん（石岡市）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2018年7月5日（木）

2174号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館
（郵送料月額120円）電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.813
2018.7/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川2-127-281
TEL/FAX 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

報告とお礼

常陸太田平和の会 鈴木 正彦

5月30日常陸太田市於いて、元東海村長村上達也氏を講師に迎え「日本の原発・発祥の地、元村長がなぜ脱原発に転じたか」を演題に学習講演会を開きました。

市内外から多くの参加者（180名）があり、応援してくださいました多くの方々、ありがとうございました。

次の日の東京新聞に、この講演会を主催した『脱原発・東海第二原発の再稼働を考える会』（常陸太田平和の会も構成団体）の立原正一会長が、「自民党員だが、東海第二については保守、革新の問題ではない。福島と同じ事故は許されない。」との言葉が載っていました。（ネットより抜粋）素晴らしい『会』であり会長だと思います。

始まりは、『まこみ知事選』や反原発運動でリベラルの方、保守の方とつながり反原発で一致、それらの人達で『東海第二原子力発電所の20年延長稼働に反対する意見書』の採択を求める請願を3月市議会に提出し、趣旨採択されたことからでした。

今度は市民の皆さんと一緒に我々も学習しよう。そして、市長に『反対』の意思を表明してもらうよう働きかけようとなりました。

学習講演会開催の呼びかけ人を募り（23名）、3回の呼びかけ人会議を開き、参加者目標を200名とし準備し、成功裏に終わりました。また市長要請行動も行いました。

講演会当日、村上さんと一緒に昼食を取った時村上さんは、「国と原発推進勢力は、東海第2原発の再稼働を『天王山』と位置づけ進めてくる。」6市村の事実上の『了解権』を認めた新安全協定を骨なしにするためにも、古い沸騰水型原子炉を認めることは、国のエネルギー基本政策上必要で、また30キロ圏96万人が安心して暮らせるという原発の『新』安全神話のためにも、と。（このような意味のことを言った。）

私たちの東海第2原発の廃炉の運動も、『天王山』である。時間は迫っている。あらゆることに知恵を絞って経験交流し頑張りましょう。

【前回及び前々回の紙面の都合により、平和かわら版への掲載が遅くなり申し訳ありません。県平和委員会事務局】



【2018年度定期大会 発言から】

■ 町づくりシンポで「戦跡を生かした 平和の町づくり」を！（北茨城）

町づくりシンポジウムを、平和委員会や9条の会が中心になって、6月23日（日）に開催します。北茨城市には第二次大戦中に行われた風船爆弾の跡地や、「震洋」という自爆特攻用ボートの発着場などの戦跡があります。それらの戦跡を平和の視点から活用した町づくりがテーマの一つです。

その他にも1800年代にイギリスの捕鯨船が、乗組員の病気などで北茨城に上陸したことがありました。地元の人が野菜や水などを与えるなどの助力もあって大事に至らなかったと言います。また第二次大戦中に悪用されましたが「アジアは一つなり」と唱えた日本美術画で有名な岡倉天心が活動しています。よく考えると幕末から現在まで様々な国際交流がありました。戦争遺跡だけでなく生かすものはたくさんあります。

野外に平和のミュージアムをつくるという話も出ています。1ヶ所に集めて大きなものをつくるという事ではなく、自然の中で触れ合いながら戦跡を訪ねて、歴史や様々な問題に触れ合えるという事を考えています。私たちが考えていることと同じです。このシンポジウムを通じて真の国際交流が進むといいなと思って、準備をしています。関心のある方はも

■ 91歳になる。戦争反対の3000万 署名をやりきります（ひたちなか）

3000万署名を地域で進めています。孫やひ孫、若者を絶対に戦争に行かせない。そのためにも3000万署名は絶対に集めきれなければならぬと考えました。現在290筆まで署名を集めました。あっちからこっちから署名が集まるんです。年金者組合にも加入していますので、そちらからの働きかけをします。

戦争法でアメリカの兵士の代わりに日本の若者が死んでいく。しかも地球の裏側まで出て行く。「それでいいのか？」このことが分かれば、「今やれることは何でもやろう」ということになります。戦前のことをよく考えれば「なぜ戦争になったのか」という事です。あの戦争で310万人以上の日本人と2000万人以上のアジアの人が殺された。

日本では、最後まで戦争に反対する人は小林多喜二のように虐殺されてしまう。そのような世の中だった。現在であっても戦争に反対する人がいなくなったら、戦前と同じことが行われます。今は可能な限り戦争に反対の声を上げ続けることだと思います。私に取ってそれが死ぬ前の仕事だと思っています。



水戸市議会で、「東海第二原子力発電所の 住民理解のない再稼働を認めないこ とを求める意見書」が原案通り可決



今年11月に運転40年を迎え、日本原子力発電が再稼働を目指す東海第二原発について、に都市議会は6月定例会最終日の19日、再稼働に反対する意見書を賛成多数で可決しました。意見書は今後、首相や県知事あてに送付することになる予定です。

採決にあたって、議員席最後列の6人とその前の列の1人の、計7人が議場外へ退出して、残った20人で可決しました。3月の常任委員会では全会一致で「意見書を採択」していました。傍聴者は、31人（採択支援の方17人、原電側4人、記者10人）でした。

「チェルノブイリ法日本版 と被爆者援護法を考える」

柳原敏夫弁護士学習会 ※資料代：500円

チェルノブイリ原発事故後の旧ソ連では、子どもや市民を守るためにチェルノブイリ法が制定され、後に3つの国に引き継がれました。予防原則に則って生存権を保障した放射線災害に関する世界で最初の人権法です。日本でも原爆投下による被災者に対して「被爆者援護法」が作られ、被災者救済のため重要な役割を果たしました。「チェルノブイリ法日本版」を自治体条例の形で市民立法制定を求める活動が始まっています。

とき 7月14日（土） 13:30～

ところ ともいきの郷 土浦市本郷1403-1

主催 福島応援プロジェクト茨城

後援 市民が育てる「チェルノブイリ法日本版」の会